

## 統合新校の校名公募結果について

県立高等学校再編計画に基づき統合してできる新しい学校の校名を公募しました。その結果の概要は次のとおりです。

### <統合による新しい学校>

- 彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の総合による新校（彦根統合新校）
- 長浜高等学校と長浜北高等学校の統合による新校（長浜統合新校）

【再編年度】 平成28年度

## 1 公募の方法

---

- 応募期間  
平成25年10月1日から平成25年10月31日まで
- 応募資格  
県内に在住または通学・通勤者、または県外に在住の再編対象校の卒業生
- 応募条件  
校名応募用紙1枚につき1案（一人1案）

## 2 公募の結果

---

- 応募件数  
（彦根統合新校） 応募総数116件 応募校名数92点  
（長浜統合新校） 応募総数139件 応募校名数85点
- 応募校名  
応募の校名は、別添資料のとおり  
資料1「彦根統合新校 応募校名一覧」  
資料2「長浜統合新校 応募校名一覧」

## 彦根統合新校 応募校名一覧

○ 応募総数 116件 応募校名数 92点

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
1	彦根芹川	ひこねせりかわ	芹川のように、普遍的な存在感、さらには時代の流れに対応できる若者に成長するようお願いを込めた。
2			芹川のほとりに位置する学校だから素直な気持ちで付けた。
3			両校が芹川のほとりにあり、川の流れと共に移りゆく四季を感じ、勉学に励んでほしい。
4			歴史ある芹川のように新校も長く歴史を積み重ねてほしいという思いを込めた。
5	彦根	ひこね	(記入なし)
6			芹川が隣に流れていて、地域的によくわかる。
7			彦根の地名であり、立地から考えて付けた。
8	彦根	ひこね	彦根なのに彦根高校がないから。
9			彦根を代表する県立高校になって欲しいという思いから。
10			伝統ある2校が統合して、今後は彦根を代表する高校になってほしい。
11			戦後間もなく東、西、両各校舎を持つ「彦根高校」が存在。今回、西高と、かつての南校舎の地にある翔陽高校が統合されることにより、新校から豊かな人間性を備え、社会に貢献できる若人が育つことを願って。
12			彦根で共通している。守山高校や米原高校、大津高校があるが、彦根高校がないのは不自然。
13	芹川	せりかわ	両校とも芹川にゆかりが深い。新校が地域に根ざし、伝統を礎に、郷土の未来のために飛翔せんことを期して命名。
14			芹川のほとりにあるから。
15			地域に貢献する人材を育成する高校、地域に密着した高校をイメージ。
16	翔陽	しょうよう	この地にちなんだ名称であり、新校として呼びやすく、なじみ良い名前であるから。
17			この名前が一番だから。
18			翔陽という名前をなくすのが惜しい。いい名前だから。
19	彦根城南	ひこねじょうなん	翔陽高校の校地にできること、母校の名がなくなるのは寂しいと思うから。
20			彦根のシンボルが彦根城であること、新校舎が彦根城の南側に建設されることから。
21	彦根西	ひこねにし	(記入なし)
22			彦根城の南に位置する高校という意味。
23	彦根西翔	ひこねさいしょう	西高は歴史も古く、翔陽高校の前身でもあり、統合した時は本来の彦根西高校に戻しても良いと思う。
24			自分が卒業する学校の名前を残したいから。
25			自分たちが卒業する学校の名前を残したいから。
26	彦根翔西	ひこねしょうせい	西と翔の頭文字を使うことで、互いの高校のことを思い出せそうだから。
27			両校から1文字ずつをとって付けた。夕日に向かってはばたくとは青春を連想。音いやすく響きが良い。
28	彦根翔陽	ひこねしょうよう	両校の1文字ずつを取る。合併後も名が残ってほしいから。
29			太陽は東から昇り、西に向かって翔る。その太陽のように目標に向かってはばたくという意味をもつ。
30	彦根西陽	ひこねせいよう	彦根翔陽は創立してまだ13年で、頻繁に名称変更すべきでない。翔陽の目標等は西高校に重なるのでそのままが良い。
31			良い校名だと思うし、校名変更による経費を抑えるためそのままが良い。
32	彦根第一	ひこねだいいち	西と翔陽の校名を合わせることで両校の伝統を継承できる。琵琶湖の夕陽がイメージでき、響きもよい。
33			西高は120年続いた歴史ある学校。翔陽も生徒の将来を考えて付けた校名だと思うので、両校の1文字を使用。
34	旭ヶ丘	あさひがおか	統合が進む中、彦根の地で新たな統合高校の第一校目として歴史に刻む意味を込めて命名。
35			彦根で一番の高校を目指すことから。
36	桜才	おうさい	「旭」という文字が「翔」や「陽」に通じるものがあり、近くに旭森小学校があることから。
37			桜の木のように一人ひとりの才能が咲き乱れてほしい。
38	近江総合	おうみそうごう	地域に根ざした近江商人の魂を受け継いで前進するように。
39			新しい学校ができ、めでたいから。彦根市の象徴。
40	心愛	ここあ	彦根翔陽の習校の名称。
41			学校を心から愛してほしいため命名。
42	湖東学園	ことうがくえん	琵琶湖の東にあることから、全県から生徒が集まってくるイメージ。学園は楽しく学ぶ学校の意。
43			名前を聞けば、すぐにどの地域のどんな学校か連想できる校名とした。
44	滋賀総合	しがそうごう	歴史的にも有名な佐和山城にちなんで考えた。
45			滋賀県を代表する大規模総合高校をめざしているから。
46	翔笑	しょうえい	生徒一人ひとりの笑顔が輝く学校にしてほしいから。
47			翔陽と西高の統合。
48	翔西館	しょうせいがん	両校の名を残したい。皆が共に仲良く学習に励めるような意味を込めて「館」と付けた。
49			彦根の南だから。
50	城南総合	じょうなんそうごう	彦根城のように後世まで愛される学校であって欲しいという願いと、城の南に位置することと学科名をとり校名とした。
51			新しい高校が勉強やスポーツで新たに栄えることを望んで付けた。
52	星明	せいめい	星のように明るく輝く生徒になってほしいから。
53			西高の西と翔陽の陽を合わせた。響きがカッコイイから。
54	淡海	たんかい	両校とも芹川の近くに学校があるから。
55			「おうみ」とも読める「淡海」とした。
56	天翔総合	てんしょうそうごう	彦根西高校の前身が「淡海」であり、それにちなんで付けた。
57			天に向かって羽ばたく日本一の総合学科。
58	彦根旭	ひこねあさひ	人の胎動期にあたる高校生活は、昇る朝日の方をめぐらして過ごさなければならないという願いから。
59			万葉集にも登場する芹川の古称を「不知哉(いさや)」というところから。
60	彦根オプショナルホープ	ひこねおぶしよなるほーぷ	各自の選択科目と目標によって生き生きと学習するように。

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
61	彦根学陽	ひこねがくよう	彦根西の「学びの共同体」の「学ぶ」と彦根翔陽の「陽」とつた。あたたかく学ぶことを意味する。
62	彦根輝進	ひこねきしん	生徒が輝きながら、自分の道を進んでいけるような学校であってほしいという願いをこめた。
63	彦根究修館	ひこねきゅうしゅうかん	「わくわく・どきどき」学習活動を通じて、知と技を深く究め、「いきいき・のびのび」世に立つ業を修め、新しい時代にえられる「館」になってほしいという思いを込めて名付けた。
64	彦根暁星	ひこねぎょうせい	明けの明星、夜明け前、希望を育む新しい学校として良いのではないかと考えた。
65	彦根芹桜	ひこねきんおう	新校の前身にゆかりが深い、芹川とその堤の桜にちなんで命名。
66	彦根光明	ひこねこうめい	未来の子供達が明るく太陽のごとく強く生きていける世の中になっていくことを祈って考えた。
67	彦根湖城館	ひこねこじょうかん	琵琶湖と彦根城という滋賀県の代表的な大景観を舞台として、大きく発展するようお願いを込めた。
68	彦根彩華	ひこねさいか	翔陽のように一人ひとりの個性を大事にし、行きたい道に進めるような学校であってほしいから。
69	彦根桜ヶ丘	ひこねさくらがおか	読みやすく、言いやすく、親しみやすい校名で、希望で胸ふくらむ桜満開の春をイメージした。
70	彦根実業	ひこねじつぎょう	「業が実る学校」という願いを込めた。伝統校ならではの校名になると思う。
71	彦根翔桜	ひこねしょうおう	新学学期の新たな気持ちを持ったまま高校生活を翔るように送れる学校。桜が咲いたように笑顔の生徒が増えるように。
72	彦根城桜	ひこねじょうおう	城下町であり、桜の木が象徴的な校地で良い立地条件にある。
73	彦根城下	ひこねじょうか	歴史を誇りに思い、国宝彦根城といえど滋賀県の高校であると即座に皆が分かるはずということから。
74	彦根翔南	ひこねしょうなん	「翔」を残し、旧校名の南を合わせた。個性を伸ばし翼を広げて社会に役立つ人間になってほしいという願いから。
75	彦根新生	ひこねしんせい	生まれ変わった新しい気持ちで新入生を迎え、自らの道路の出発点とする意味を込めた。
76	彦根翠翔	ひこねすいしょう	「翠」は、生徒たちが自ら芽吹き、将来の成長を意味し、新校のコンセプトに合致。「翔」は大きくはばたき、総合学科の継承も意味。両文字に「羽」がつくのも未来に向かってはばたく意味で生徒の大きな成長を期待させる校名。
77	彦根翠松	ひこねすいしょう	彦根は琵琶湖松原と彦根城の松。色鮮やかに雄雄しく発展していくことを願って命名。
78	彦根育雲	ひこねせいうん	「育雲の志」の育雲。高い理想を持って学習と部活動に励む。
79	彦根成栄	ひこねせいえい	彦根の地で自分のため、世のために生きていける人になり、人生が栄えるという願いを込めた。
80	彦根清翔	ひこねせいしょう	清らかな心を持ち、学校生活をかける思いを込めて付けた。
81	彦根成章	ひこねせいしょう	両校の首を基に、西=セイ 翔=章
82	彦根星城	ひこねせいじょう	星のごとく輝く人生が送れることを祈り、良き人材となって社会人や学生としてはばたいていくことを願って命名。
83	彦根西翔学館	ひこねせいしょうがくかん	両校の名前を残し、滋賀には「学館」という校名がないので、インパクトのある校名となる。「学びの共同体」を主としている西高校の思いを受け継ぐために「学びの館」という意味も込めた。
84	彦根西南総合	ひこねせいのなんそうごう	彦根西高校と翔陽高校の前の校名彦根南高校との名前を合わせた。
85	彦根清明	ひこねせいめい	翔陽の「清く明るい心」を引き継ぎ、地域に信頼される高校として発展するという期待を込めた。
86	彦根清和	ひこねせいわ	すべての生徒が一つになれることと、清らかな心をもって学校生活を送ってほしいという願いを込めた。
87	彦根碩誠	ひこねせきじょう	新校が「碩学」「碩人」「碩徳」といった言葉がふさわしい多くの人材が育っていく高校になって欲しいという願いから。
88	彦根太陽ヶ丘	ひこねたいようがおか	明るく力強いイメージの校名とした。「翔陽」の「陽」の字も残すことに成功した。
89	彦根中央	ひこねちゅうおう	卒業生、在校生の思いを中心にひとまとめにし、南高と西高を「中央にまとめる」という意味の校名とした。
90	彦根中部	ひこねちゅうぶ	彦根市の中部に位置し、街の真ん中にあり、中心となる高校に発展する願いを込めて命名。
91	彦根統修	ひこねとうしゅう	統合されてさまざまな学びを修めることのできる学校という意。
92	彦根東翔	ひこねとうしょう	現在の総合学科である「翔陽」の一文字を引き継ぎ、位置的に彦根市の東側に位置することから。
93	彦根統和	ひこねとうわ	統合して和していくようにとの願いをこめた。
94	彦根新志	ひこねにし	翔陽の前身である彦根西高校は彦根市・東近江市・米原市で「にしこう」の名前で親しまれていた高校。これからも総合学科として、新たな志を見い出して学べ、社会を担う人材を育成する高校となることを願い命名。
95	彦根西翔陽	ひこねにししょうよう	両方の校名を尊重したいと考えた。
96	彦根飛翔	ひこねひしょう	総合学科としての「翔」の文字を受け継ぎ、さらに大きく飛び立ち発展する。
97	彦根緑ヶ丘	ひこねみどりがおか	緑あふれる豊かな自然を誇突するイメージの校名を考えた。
98	彦根南	ひこねみなみ	校名を変えなければならないのであれば、かつての校名に戻してはどうか。
99	彦根南総合	ひこねみなみそうごう	創設当時の「南高」と総合学科の両方の名を入れた。
100	ひこね未来	ひこねみらい	彦根の明るい未来を切り拓く人材が育成されることを願って付けた。
101	彦根未来	ひこねみらい	「未来」は、教育基本法の前文や滋賀県教育委員会の教育の指針における基本目標からとった。語感が明るく、柔らかく、老若男女誰にでも分かりやすく、書きやすく、言いやすい。
102	彦根明清	ひこねめいせい	明るく清く逞しい人に成長してくれることを願い、新校がすがすがしい風が吹く明るい学校であるようにと願って命名。
103	彦根明星	ひこねめいせい	明るく輝く人に成長してくれることを願い、明星＝金星の意を込めた新校名が、同じ総合学科である長浜北星と関連させ、明星とした。
104	彦根明豊	ひこねめいほう	コンセプトにある「いきいき・のびのび」明るい学校生活や、教育理念に謳われている「豊かな人間性」の育成を目指す学校として適切な校名。
105	彦根明芳	ひこねめいほう	明るく香り豊かな感じがするから。
106	彦根陽光	ひこねようこう	「彦根翔陽」の文字から「陽」をとって付けた。明るく陽気な学校になればという願いで付けた。
107	彦根楽園	ひこねらくえん	楽園は楽しそうなイメージ。あまり勉強が好きではない人も学校に行きたくなくなると思うから。
108	彦根流星	ひこねりゅうせい	学生の時期を輝く星のように明るく楽しく過ごしてほしいから。
109	彦根良知	ひこねりょうち	中江藤樹の言葉に「良知」がある。生徒が生まれながらに備えた知能や潜在能力を伸ばし、心技体をバランスよく育み、世界に有為な人材として成長してくれることを希求して命名。
110	彦根黎明	ひこねれいめい	「新しいことが始まる」という意味どおり、新しい学校が始まり、成長していく姿を見つめていきたいという思いを込めた。
111	飛翔	ひしょう	2校の統合により、新校が高い理念を持ち、生徒が世界にはばたくような学校になってほしいから。
112	琵琶湖	びわこ	琵琶湖が近くにあるから。
113	びわこ	びわこ	滋賀を代表する高校の意。
114	びわこ総合	びわこそうごう	琵琶湖の近くの総合学科高校だから。
115	びわこ東	びわこひがし	母なる琵琶湖の東に位置し、日が昇り湖の西に沈む。「びわこ」とひらがなにすることで、和らぎの感じがする。
116	南彦根総合	みなみひこねそうごう	総合学科としてのアピール。最寄りのJR駅と同じにした方が場所をイメージしやすい。

## 長浜統合新校 応募校名一覧

○ 応募総数 139件 応募校名数 85点

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
1	長浜北	ながはまきた	長浜北高は100年の伝統をもつ。長浜高校の敷地に設置されるので、校名は長浜北が望ましい。
2			名前だけでも残して欲しい。
3			名前だけでも残して欲しい。
4			伝統ある校名を残した方がよい。
5			長浜高校の皆さんは場所を受け継ぐので、長浜北高卒業生としては名前を受け継ぎたい。
6			場所は長浜高校になるので、せめて北高の名前を残してもらわないと卒業生としては困る。
7			長浜高校は場所が残り、忘れられることはない。せめて北高の名前だけでも残してもらわないと卒業生としては困る。
8			校地は移転するので名前だけは残して欲しい。歴史や市民の納得度の違いを考えれば、長浜高校のOBからも異論は出ないはず。
9			長浜北の校舎がなくなるので、名前を残して欲しい。
10			歴史ある長浜の地に歴史ある校名を残してほしい。地域に浸透している名前、県の北の地、長浜の地にあることを踏む名前。
11			103年の歴史と伝統に培われた校名。県民に広く親しまれている。特に長浜市民には憧れの校名。対等統合として長浜高校は校地が残るので、名称は長浜北にしてほしい。
12			歴史と伝統があり、多くの立派な先輩を輩出し、誰からも親しまれ愛され、長浜の誉としてきた長浜北高。この校名をぜひ後世に残してほしい。
13			伝統ある校名を残した方がよい
14			伝統ある校名を残した方がよい。
15			「湖北」「長浜」という地名から、この名前が良いと思う。
16			伝統ある校名を残して欲しい。
17			北高の校名の存続を望む。
18			北高の校風と伝統を受け継ぐという強い意志を表すため。
19			長い伝統のある校名を残して欲しい。
20			地域になじみがある名前。長浜高校の校舎を使うなら名前は「長浜北」とすることでバランスがとれる。卒業生として、校舎か名前のどちらかは残して欲しいという気持ちが強いのではないかな。
21			卒業生として校名を残して欲しい。歴史の長さが違う。
22			卒業生として校名を残して欲しい。歴史の長さが違う。
23			卒業生として校名を残して欲しい。歴史の長さが違う。
24			地域文化の中心となる伝統校名を継いで命名した。両校の校風や活力はそれぞれに個性があり、この良い面をお互いに出し合い、今後さらに発展することを願う。
25			統合されることが、今後の両校にとって発展的に、ますます展望が開けるものであるためにも、両校の歴史や校風、地域とともにある学校ということから総合的に判断。両校の校名が継承してある長浜北にした。
26			両校の校風や活力はそれぞれに個性があり、この良い面をお互いに出し合い、今後の更なる発展を願った。さらに地域表示も長浜と長浜北の2校の校名は息づいていて、今後さらに発展していくイメージがある。
27			両校の名前を引き継ぎ、新しい出発してもらいたい。
28			長浜高校は敷地が残るが、長浜北高は移転してしまい今までの敷地はなくなる。敷地の代わりに名前だけは残すべき。
29			場所は変わっても、校名だけは伝統と歴史のある校名を残して欲しい。
30	長浜開知	ながはまかいち	長浜に創立された県下最初の小学校が明治7年に「開知学校」となる。この学校の建築費は、すべて地元の人々の寄付金によるもので、多くの人材を世に出す。このような気概をもった長浜の新校名に「開知」を入れることがふさわしい。
31			長浜には、遊覧県で初めての小学校ができ、その第一小学校が「開知学校」と呼ばれたという歴史がある。この長浜での近代教育のスタート時の校名に、伝統ある長浜北高の新たなスタートを託したい。
32			遊覧県で初めてできた長浜第一小学校が「開知学校」と呼ばれたことに由来して。
33			「開知＝知を聞く(学力の高い学校を期待)明治4年、県下初の小学校が長浜に誕生。同7年「開知学校」として、移設開校(経緯が似る)。長浜児童の教育の高さと教育のさきがけのシンボル。「開知」を使った高校は他にないのでは。
34	開知学校に困った。知を聞くこと、長浜や地元の人たちに親しまれ、支持されることを願って命名。		
35	長浜中央	ながはまちゅうおう	湖北、湖東の中心になる高校を目指して欲しいから。
36			長浜の中心的な高校になって欲しい。
37			長浜駅に近い。長浜の中心にあるから。
38			地域の中で、学業および規模などにおいて中心的役割を担う学校として、来永く隆盛していくことを念じている。
39	長浜の中心的存在になって欲しい。		
40	新長浜北	しんながはまきた	100年の歴史ある校名は残すべき。校名は両校を足した名前になっており、地元の人間にはこれが一番納得できる。長浜北高校の名前がなくなることは断じて許しがたく、統合校の名前は「新」をつけて「新長浜北」を希望。
41			100年の歴史ある校名は残すべき。
42			100年の歴史ある校名は残すべき。
43	100年の歴史ある校名は残すべき。		
44	豊臣	とよとみ	全国の人が知っている。国を思っている。不屈の精神力。
45			長浜に縁があり格好がよい。
46			長浜に縁があり格好がよい。
47	豊臣秀吉により、地域の発展があり、現在の長浜市の基礎になっていることから。		
48	琵琶湖	びわこ	日本一の湖が近くにある。校名だけで県もわかるから。
49			遊覧県のシンボルである琵琶湖の近くに位置し、琵琶湖のように広く澄んだ心を持つ生徒を育てる。
50			琵琶湖の近くにある。晴して呼ぶ時に「びわ高」、「びわ生」となり、おさまりがいい。
51	遊覧県のシンボルである琵琶湖の近くに位置し、琵琶湖のように広く澄んだ心をもつ生徒を育てる。		
52	長浜桐蔭	ながはまとうほう	両校に縁のある桐と、豊かな心と体を育てて欲しいという願いを込めた。
53			両校に縁のある桐と、豊臣秀吉の名から1字をとった。
54	長浜といえば秀吉、両校の同窓会館にも桐の名が付く。今後の発展を期して「豊になる」、「豊臣秀吉」の豊を合わせて。		
55	今浜	いまはま	型知新という意味も込めて、長浜の古名「今浜」に、現在の長浜という意味も含めて「今浜」に。
56			長浜の古名にちなんで、その今浜から改名した人は「豊臣秀吉」で、長浜高校とも深い関係がある。
57	北長浜	きたながはま	北高と長浜高校を合わせ、リニューアルを出す。
58			北高と長浜高校を合わせた。
59	秀徳	しゅうとく	品のある行動を自然にとれる徳の高い人を目指す。優れた人を目指す。幼学にも即活動にも一生懸命になり、努力を忘れずに取り組み姿勢を大切に。人徳を持ち、困った人には手を差し伸べることのできる善の行動ができる生徒を育てる。
60			優秀で道徳のある高校になって欲しい。
61	長浜秀峰	ながはましゅうほう	豊臣秀吉のように、日本において秀で、伊吹山のように湖北で、グローバル社会で秀峰となる人材を育成する学校を目指す。
62			地域において、学習、体育、道徳などの各分野において、中心的役割を果たす学校。
63	長浜第一	ながはまだいいち	両校の歴史を重んじて命名。
64			遊覧県北部に位置する長浜に、世界に羽ばたく若者を育み、第一等の人材作りを目指す。
65	長浜北陽	ながはまほくよう	長浜北星と対応する形で、北の輝く太陽となる高校。
66			太陽のような明るい学校になって欲しい。
67	長浜未来	ながはまみらい	未来に向かって発展して欲しい。
68			北高の伝統を受け継ぐだけでなく、長浜の未来を創る人材育成を意図した学校。

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
69	北	きた	滋賀県北部にある学校だから。全県下から生徒が通う学校になるように、あえて地名を外した。
70	北近江	きたおうみ	長年親しまれた北高という呼び方が残れば良いと考えた。
71	北琵琶湖	きたびわこ	北にあり、琵琶湖の近くにあるため。
72	桐一葉	きりひと	両校が桐を校章としているため。
73	貴和三	きわみ	和をもって賞しとす。やわらかく、なごむ、仲良くする、平和、協和。 三校:長浜高校、長浜北高校、長浜高等女学校 三方よし:先生、生徒、保護者 きわみ:最後まであきらめずに極める。
74	佳愛	けいあい	佳は「かしこい」、「愛」は愛されるという意味がある。
75	啓暎	けいめい	先の見えない道があっても恐れず先駆者として道を開く生徒を育てる学校。
76	江北	ごうほく	秀吉が今浜から長浜へと改めたおり、江北の政所となせし時、武運長久を祝し、江北とは近江の北の地。総画11は進歩的發展数。
77	光陽	こうよう	太陽のように世界を照らす、暖かい心豊かな生徒が育つ学校になって欲しい。
78	湖国長浜	こくながはま	滋賀県には琵琶湖に關連する校名がない。勉学、部活動に励み、琵琶湖のように大きな存在、人材になることを目指して欲しい。
79	湖北	こほく	湖北の中心となって欲しい。
80	湖北長濱	こほくながはま	「縮緬」で名高いこと、あえて湖国滋賀の地名を重視して、「濱」の文字で「湖の北部に位置する長濱の高校」と名付けた。
81	翔徳	しょうとく	のびのびとした学校生活を送り、徳のある人間を養成する学校を目指す。
82	新星	しんせい	新校ができるということで「新」の文字を、北星高校に對峙する意味で「星」という文字を取り入れた。
83	新生長浜北	しんせいながはまきた	北高の伝統を受け継ぐだけでなく、新しい時代の要請に応えられる学校。
84	新中央長浜	しんちゅうおうながはま	長浜に2つあった高校が1つになるから。
85	生翔	せいしょう	この学校で生き生きと学び、生き生きと人生を歩きたい。
86	双桐館	そうとうかん	両校ともに桐にゆかりがあり、桐のように凛々しく真っすぐに伸びて欲しい。
87	大長浜	だいながはま	湖北で何事においても一番を目指す。その自覚が持てるような大きな名前。
88	長山	ちょうざん	長浜の長と伊吹山の山。
89	豊浜	とよはま	豊臣秀吉の「豊」。豊という字のように、この学校に通う人の心が豊かになるように。
90	長浜	ながはま	長浜高校の所に学校が建つので、校名もそのままがいい。
91	長浜暎	ながはまめい	(記入なし)
92	長浜新	ながはまあらた	新たな出発としてエールを込めた。
93	長浜開智	ながはまかいち	旧開智学校が、人材育成の必要性を感じた長浜市民の寄付により建てられ、長浜の近代教育の場として寄与してきたことに因み、地域に根ざしたグローバル社会で活躍できる賢智「Wisdom」を育む学校を目指したい。
94	長浜明	ながはまけい	長浜をつけた理由は、今までとおり地域に根付いた高校であり続けて欲しいという願いから。明は明るい未来を自ら切り開くという雰囲気を感じ出している。明治維新のような新しい幕開けという意味も含んでいる。
95	長浜翠泉	ながはませいせん	(記入なし)
96	長浜涵養	ながはまかんよう	「涵養」には自然にしみ込むように、徐々に養育するの意がある。高校生活を通して、学習により得た知識、知能、クラブ活動で身につけた技能、精神力、日常生活で培った友情や他人を思いやる心を確認し養育する学校。
97	長浜輝多	ながはまきた	長浜北の名前を音だけでも残したい。生徒が輝く場面が数多くある学校。
98	長浜北連合	ながはまきたれんごう	2つの学校が統合されるということから。
99	長浜紅霞	ながはまこうりょう	菅葉の響きが良かったので、この名前にした。新しい学校で一人ひとりが何か目標をもって熱く燃える学校になればいい。
100	長浜国際	ながはまこくさい	新しい英語教育のモデル校になる学校だから、生徒にアピールできる名前ということで、「国際」の文字を入れた。
101	長浜湖城	ながはまこ	琵琶湖や長浜市を見守る長浜城の名称からとった。
102	長浜東登	ながはましのめ	(記入なし)
103	長浜秀明	ながはまひょうめい	明朗・快活できざまなことに秀でた生徒を育ててほしい。
104	長浜熟成	ながはまじゅくせい	高校生が減少する現在、勉学が低下している時代、今一度統合し、学に熟し、人格を成する人格を育てあげて欲しい。
105	長浜城下園	ながはまじょうかえん	市内の高校に長浜城の名を残していないのが大変残念。城下の園で勉学に励み、世の人のために貢献できる人材を育ててほしい。
106	長浜城智	ながはまじょうち	県内外の方からも知名度の高い長浜城の「城」でどこにあるのかすぐわかり、かつ生徒への望みを込めて物事を会得する、知恵や技術に優れている意味の「智」をつけた。
107	長浜城東	ながはまじょうとう	長浜市のシンボル長浜城の東側に校舎が建設されることから。
108	長浜新観北	ながはましんくわんきた	新しい時代に観る感覚をもった生徒を湖北で育てるため。
109	長浜新星	ながはましんせい	新しい統合校ができるため、永遠に光り輝いて欲しい。
110	長浜新風	ながはましんふう	未来に向かって、新しい風を吹かせて欲しい。
111	長浜清香	ながはませいか	(記入なし)
112	長浜育萌	ながはませいほう	新しく誕生した初々しい高校として、何事にもチャレンジして、若者らしく強く前進して欲しいと念じて。
113	長浜双竜	ながはまそうりゅう	双:東に伊吹山、西に琵琶湖と2つの大きな自然に恵まれている。地域と学校が共に歩むこと、長浜、長浜北の2校の意味もある。竜:長浜高校の南には長浜新川が流れているので川を意味。天に昇る竜の如く卒業生が世界にはばたくことを願って。
114	長浜中央	ながはまちゅうおう	「濱」は伝統という意味も含めて「浜」を使わず、新校の周辺の観光地でも「長濱」という表記が使われている。新校もあえて「濱」という字を使うのが良い。「中央」というのは、長浜市内の中央的存在になって欲しいという意。
115	長浜桐蔭	ながはまとういん	他府県の例からも、落ち着いた伝統校で、進学・運動両面に優れた実績を残しているイメージがある。また「桐」は太閤秀吉にちなんだ校章であり、両校とも桐をアレンジした校章を使用。
116	長浜桐樞	ながはまとうおう	地元になじみの深い豊臣家の家紋の桐と、豊公園の樞にちなみ、地域に根ざして発展していける校名をイメージした。
117	長浜桐前	ながはまとうまへ	北高のシンボルである桐の木。生徒の人格の陶冶を目指し、その端緒をつける。
118	長浜桐登館	ながはまとうぼうえん	両校に縁のある桐と、自由な発想で長浜の町を治めた豊臣秀吉の1字をとって。
119	長浜・長北英光	ながはまながはきたえいこう	互いの歴史を大切に仲良く、地域の人にも、両校が存在し続けている認識を持ってもらいたい。
120	長浜南星	ながはまなんせい	湖北の若者を支える主力になって欲しい。長浜市の中心から南西に位置し、生徒が輝けるように願って。
121	長浜西	ながはまにし	長浜市の西方に位置し、わかりやすい。
122	長浜嶺山	ながはまのうざん	「嶺山」とは、琵琶湖の周囲の緑ごまやかな山々を示す言葉。ふるさとの山々を仰ぎ見つつ、のびやかに育ち、ひたむきに学ぶ高校生の姿を思い描き校名とした。「のうざん」は英語の「Northern」に通ず。
123	長浜ひょうたん	ながはまひょうたん	秀吉親の長浜に因んで「ひょうたん」を入れた。罎瓶は、旧長浜市の市標にも使われていた経緯があり、市民にはなじみがある。
124	長浜琵琶	ながはまびわ	高校には琵琶のつく学校はなく、場所も琵琶湖に近い所にもなる。日本中の人に覚えてもらいやすいと思う。
125	長浜ブライイト	ながはまぶらいいとん	Brightは明るいという意味に加えて、利発な人間的に優れた人に使う。新校の教育目標である人格陶冶につながる。カタカナ表記は、新しい国際教育を推進する学校にふさわしく、音もリズムカルで躍動的であり、県南の生徒からも憧れの学校として映るはず。
126	長浜豊栄	ながはまほうえい	秀吉公が長浜の地に長浜城を築き、大いに繁栄した歴史に鑑み、悠久に地域住民から親しまれ栄える学校となるよう願って。
127	長浜豊翔	ながはまほうしょう	大きく羽ばたいて欲しい。
128	長浜豊徳	ながはまほうとく	長浜の地で、学業、体育はもちろん、現代社会に求められている「徳育」を最重点テーマに、良縁ある社会人作りを目指す学校。
129	長浜北凜	ながはまほくりん	凜として生きて欲しい。
130	長浜明星	ながはまめいせい	新校として「明の明星」といわれる金星のごとく、未来に向かってはばたき、光り輝く長浜のシンボル高校となるように。
131	長浜律翔	ながはまりっしょう	自らを律し、未来へはばたく人物を輩出して欲しい。
132	ノーザンレイク	のざんれいこく	琵琶湖と滋賀県の北部に位置する学校だとわかるように。
133	浜北	はまきた	両校の校名を名残りで併せて命名。
134	浜映	はまさき	長浜という地に、両校の良い所をいっばい映かせてほしい。
135	曳山	ひきやま	長浜市の伝統である曳山祭りの名前を入れ、地域の誇りと伝統を大切にしている学校を目指す。
136	琵琶城北	びわこじょうほく	琵琶湖に由来。「城北」は豊臣秀吉が築城した長浜城から、そして両校が滋賀の北湖に位置することから。
137	豊城	ほうじょう	文武両道と礼儀をわきまえた若者を育成する場として、心身ともに豊かで強い生徒であって欲しい。豊臣秀吉の縁の地であり、長浜のシンボリックな城をイメージした。
138	びわこ	びわこ	滋賀県を象徴する。
139	明光	めいこう	入学した生徒が部活動や勉学に励み、明るい未来を手に入れるための光のような学校になって欲しい。